



# YOSHIDA MAGAZINE

有限会社 吉田工業

vol.17

2024年5月15日発行

# 円滑な コミュニケーションの要

毎回違うメンバーや協力会社の方と働くことも多い現場は、作業工程確認や共通認識の擦り合わせ、安全面への配慮……と毎日タスクが山盛り！経験豊富な栗崎さんに、スムーズな作業を行うコツを伺いました。

教えてください！  
達人の仕事術



工事部一課 課長  
くりさき あきお  
栗崎 秋夫さん

## 業務内容

石川県の七尾火力（七尾大田火力発電所）における「令和6年能登半島地震」後の点検が3月末に終わり、現在は1号ポンプの分解点検に着手しています。当社5名、協力会社2社5名、計10名で2024年4月～7月初旬まで約3か月間の作業です。例えるのであれば、「車検」のようなもので、低規定にオーバーホールして問題がないか確認し、消耗していたり傷んだりしているパーツがあれば交換作業を行い、また次の点検まで安心してご利用いただける状態にしてお客様にお渡しする、というのが作業内容です。

## 業務効率化のために 工夫していること

## 疑問放置と 勝手な判断はご法度！

私が心掛けているのは、**少しの疑問でも頭の中に「？」が浮かんだら、必ず上長に確認すること**です。新しい作業の方の中には機械の知識や作業の経験がない人もありますが、わからなくて当たり前、疑問を持って当たり前です。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」とは言い得て妙、わからないことをそのままにして「自分の感覚」で作業してしまうことが一番困るので、基本ではありますが、まずは経験者に聞いてみてください。協力会社の方を含めてバックグラウンドが違う作業者が集まったとき、**共通認識が全て同じとは限りません**。「自分はこう教わったから」「あの人はこうやっていた」という

自分のやり方に固執するのではなく、**現場ごとの違いを理解して柔軟に対応できるようにするとスムーズに作業を進められる**と思います。安全面でも同じで、わかっている現場ごとに確認することは大切です。特に、経験を積んでいくと「これをやらなくても結局同じだからやらなくても良いだろう」と勝手に判断してしまい、大切なひと手間を省いてしまうことがあります。**工程には必ず意味があります**。省いたことで問題が起き、「やはりやっておけば良かった」と思うくらいなら、初めから面倒に思わず着実に工程を踏むことです。

# Voice



建設部 機械課長

## MATSUMOTO ATSUSHI 松本 厚

建設部で機械課長を務めている松本厚さんは、約11年前に有限会社吉田工業へ中途入社しました。

入社後は、火力発電所や原子力発電所設備の保守や点検、建設工事を担っています。前職時代からさまざまな工事に携わった経験がある、大ベテランの松本さん。現在は、どのような思いで業務に取り組んでいるのでしょうか。印象に残っている現場や大切にしている信念などについて、語っていただきました。

これまでのご経歴や、  
吉田工業に入社した  
きっかけを教えてください。

もともとは、一人親方として数名の職人を抱えて仕事を請け負っていました。しかし景気が悪く、事業を維持するのが難しい状況になってしまい、会社に所属しようと考えたのです。転職先に吉田工業を選んだ理由は、以前から取り

引きがあったため、会社についてよく知っていたからです。

印象に残っている  
仕事について  
お聞かせください。

4年ほど前に携わった、新潟県にある上越火力発電所が印象に残っています。配管の新設工事で、私は現場管理の仕事を担当しました。施工期間が約2年半という長期にわたる案件で、それまで配管の仕事をした経験がなかったもので、非常に苦労した記憶があります。もちろん作業はわからないことばかり。そのため都度作業内容を確認したり、現場監督と打ち合わせをしたりして、慎重に進めていきました。

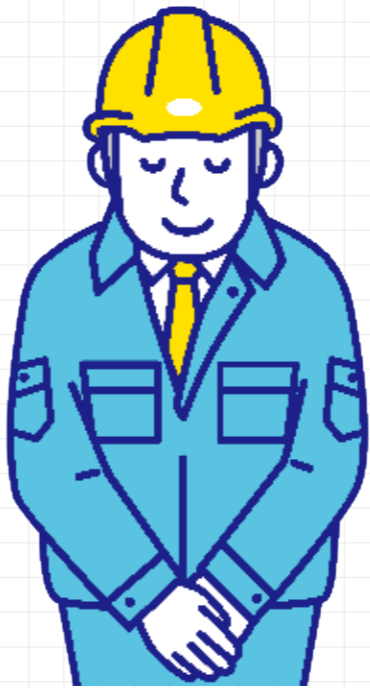
特に大変だったのが検査対応です。配管は検査項目が多数あって、それぞれ検査日が決められていたため、スケジュールに合わせて作業工程を組み立てていかなければなりません。高い精度を求められる



**円滑な**  
**コミュニケーションのために**  
**身につけたいこと**

**親しき仲にも礼儀あり！**

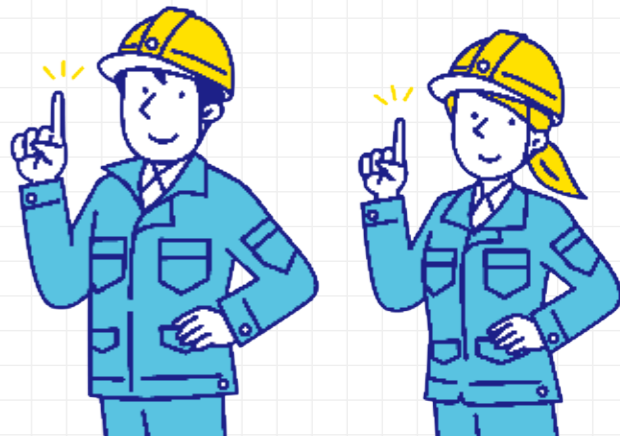
人手が足りずに忙しい現場も多いと思います。協力会社のサポートあってこそ私たちの仕事です。特に初めて同じ現場で作業する方へは、**年齢関係なく丁寧な口調で、謙虚な姿勢でコミュニケーションを取る**ことにしています。ときには冗談を言ってみたり、休憩中にラフな口調で指示確認をしたりすることもあります。そういった緩急も大事な要素ですね。



作業と仕事の違いは、そこに自分の意志があるかどうかだと考えています。「この作業は何のために行われるのか」「この機械は何のために使用し、動かすと何が起こるのか」ということを、まずは自分で理解しようとする意志を持つこと。そして「どうしたら効率的にできるか」「次に繋がるには」を考えることで、初めてそれが「自分の仕事」になると思うのです。もう一つは、「臨機応変さや柔軟性」を身につけると仕事が楽しくなるということです。物事を自分ごとに捉えることができ、さらに状況判断ができるようになったとき、自然とコミュニケーション力も高まっていることに気付くと思いますよ！

**若手への**  
**アドバイス**

**意志を持って自分ごとにしよう！**



ている中で、慣れない作業を遅滞なく行うのは難しいものがありました。そのぶん、工事が無事に終わったときに得られたのは、味わったことがないほどの達成感。その後も別の配管工事に携わる機会があり、上越火力発電所での経験が活かしていると感じています。

**これまでに、失敗してしまっただ経験はありますか。**

2023年に担当した、秋田県大館市にある木質バイオマス発電所の建設工事での出来事です。使用する材料に規定の寸法があるにもかかわらず、確認せずに自分の判断で切断した結果、長さが足りなくなってしまうのです。ミスが発覚した瞬間は、自分のスキルが低さにショックを受け非常に落ち込みました。その後は、急いで工事責任者に相談。工事責任者が上司と調整したところ、「長さを調

節できるナットがあるから、大丈夫だ」という結論に至ったのです。材料を無駄にせずに安心しましたが、いろいろな人に迷惑をかけてしまい、深く反省しました。この経験からは、しっかりと事前の確認することの大切さを痛感。また、自分の勝手な判断で作業をせず、上司に相談したり報告したりするように心がけています。

**仕事を行う上での信念や、業績を上げるために**  
**行っていることはありますか。**

信念は3つあります。1つ目は、無事故無災害で仕事を終わらせること。2つ目は、製品を壊さないこと。3つ目は、労働時間の遵守です。この3点を実行するために、私は現場でコミュニケーションをこまめに取るように意識しています。常に現場を見回り、いろいろな

人への声かけは欠かしません。その際、不安全行動や危険な部分があったら、すぐに注意をうながすのが習慣となっています。また、コミュニケーションを通して現場の状況や進捗を把握し、工程や時間を管理するのも大事です。業績を上げるために、まずは現場を盛り上げていこうと考えています。吉田工業には、私の同級生が2人在籍しています。1人目が統括部長の木村さんで、2人目が工事課長の栗崎さん。この2人と一緒に会社を活性化させて、業績アップに貢献できるように取り組んでいきます。

**最後に、今後の目標や若手社員へのメッセージを**  
**お願いします。**

目標は、先ほどもお伝えしたように、2人の同級生と一緒に会社を盛り上げていくこと。また、後

輩社員の指導にも力を入れていきたいと思っています。現在、若手社員の皆さんは、いろいろな現場に配属されています。ぜひ、それぞれの現場で積極的にスキルを習得していきましょう。そして将来的には、自分が学んだ内容を後輩へと伝えていき、技術を継承してほしいと思います。

「上司からも後輩社員からも信頼され頼られるような存在になりたい」と語った松本さん。飽くなき向上心を胸に、今日も挑戦を続けていきます。

**企業情報**

設立年：1987年5月12日  
年商：12億円

※2023年3月時点



# 社長通信



代表取締役社長 よしだ ただかつ 吉田 忠克

## ～とあるニュースからの千思万考～

vol. 3

「え、千思万考(せんしばんこう)?何?」と思った人は少なくないはず。意味は「あれこれ思いや考えを巡らせること」です。今回は吉田社長が日本経済新聞で気になったとあるニュースから巡らせた考えをご紹介します。当社の将来を考えるヒントとして、ニュースそのものの捉え方や考え方の一例として、参考にしてください。

### 「次世代原子炉で水素製造へ」

#### 原子炉、電力……無視できないワード

日本政府が原子力を活用した水素製造の実証を2028年にも始めるというニュースです。こうした報道も含め、水素製造に関するニュースをたびたび目にするようになりました。背景にある一因は「余剰電力問題」。「原子炉」や「電力」など当社の事業にもかかわるキーワードですから、無視できないニュースです。

#### 「余剰電力問題」とは……

現在、太陽光発電含め電力の需給バランスが取りにくくなっています。仮に電力の供給過剰状態が深刻化して需給差が5%に達すると、電力会社が発電をストップする「ブラックアウト」に陥る恐れも。「余剰電力問題」の解決策が必要です。

### 余剰電力を活用して水素製造

#### 1つのニュースから考えを巡らせる

余剰電力の蓄電池への保存には「非常にコストが高い」という難点があります。そこで余剰電力による水素やアンモニアの製造、「作った水素やアンモニアを燃やせば再び電気に」という発想から生まれました。水素製造の動きはすでに見られ、当社の顧問によれば、北海道で洋上風力発電といった再生可能エネルギー事業を手がける株式会社グリーンパワーインベストメント(以下、GPIと表記)も水素製造を模索しているそう。ちなみに、GPIの余剰電力を蓄電池にするコストが約400億円に対し、水素製造プラント建設はその10分の1とのこと。

「水素を再び電気に変えるのはコストがかかるから、水素を売れば……」、「大手2社が市場を席巻し参入は難しいか」と考えつつ、先行きから目を離せないと感じました。

### 事業にまつわるワード、ニュースをキャッチ

#### まずはアンテナを張ることが重要

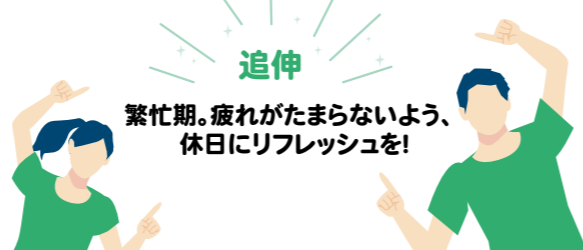
エネルギー業界の方向性を見極めるために、**ニュースや電力関連の話題の把握は有効**です。たとえば先日、三菱重工パワーインダストリー株式会社の社長と当社の顧問との酒席でのこと。「バイオマス、ペレットを輸入して発電してコストが合わなくなっているね」、「円安だし」という話題から、三菱重工パワーインダストリーは既存の発電所やゴミ焼却場のメンテナンスやリプレースに注力したいという話になりました。話ながら「タービンだけでは食っていけないかな」、「いや、まずは東日本の発電所をもっと押さえねば」、「原子力はどんどん稼働してくるから重点的に……」など考えつつ、「とにかく情報や変化を敏感にキャッチしながら、臨機応変に対応せねば」と気を引き締めました。

### 社員の皆さんへのお願い

グループLINEで随時共有しているニュース。必ずチェックしてください。また各自、朝のニュースは見ておきましょう。

#### 追伸

繁忙期。疲れがたまらないよう、休日にリフレッシュを!



# 新入社員紹介

ようこそ吉田工業へ!

会社の新たな風、新入社員のご紹介です。熱意と意欲に満ち溢れた3人は、今後会社にどんな影響を与えてくれるのでしょうか。成長と活躍に注目しましょう!プライベートについても教えてもらいましたので、同じ趣味を持つ人はぜひ話しかけてみてください!

#### プロフィール

出身地 福島県郡山市 誕生日 1967年3月1日  
好きな食べ物 マックシェイクのストロベリー味



工事一課  
わたなべ まさゆき  
渡邊 昌幸さん

#### 休日の過ごし方

DIYにハマっています。最近では物置の組み立て、トイレの壁紙の張替えを行いました。

#### 座右の銘

「継続は力なり」

物事を継続することで必ず結果が出ると思うのでやり続けることを大切にしています。

#### 自分のここを活かしていきたい!

オヤジギャグが得意ですので、これからも精進し磨きをかけていきたいと思っております(笑)

#### 今後の意気込みや目標

健康管理に十分気を付け、出勤率を下げないよう努力いたします。

実は永ちゃんファンです!

毎年年末に日本武道館が横浜アリーナのどちらかで開催されるライブには必ず参加しています。

#### プロフィール

出身地 兵庫県宝塚市 誕生日 1991年5月2日  
好きな食べ物 カレー

#### 休日の過ごし方

U-NEXTで映画を観て過ごすことが多いです。

#### 座右の銘

「迅速果断」

自分のここを活かしていきたい!

今後の意気込みや目標

真面目に物事に取り組めるところが強みだと思うので、その部分を活かしていければと考えています!

実は映画が好きです!

幼少期から映画が好きでした。



工事部二課原子力担当部・東海第二原子力発電所  
よしの ゆうた  
芳野 裕太さん

#### プロフィール

出身地 福島県いわき市 誕生日 1981年12月1日  
好きな食べ物 ラーメン



工事二課・東海第二原子力発電所  
おりかさ あきひと  
折笠 彰人さん

#### 休日の過ごし方

基本、家族と過ごすことが多いですかね!

#### 座右の銘

「努力は裏切らない!」

自分のここを活かしていきたい!

今後の意気込みや目標

細かな作業が意外と得意なので、この強みを活かしていきたいと思っております!

まだまだ覚えなければいけないことがありますが、今は焦らずに与えられた仕事をコツコツこなしていきます!

実は小学校2年生から高校まで野球少年でした!

そこそこの成績を上げていました(笑)



吉田社長から新入社員の皆さんへメッセージをいただきました!

代表取締役社長  
よしだ ただかつ  
吉田 忠克さん

#### 期待していること

他社にない技術力とスキルを身に付けて、何処に行っても胸を張って仕事をこなせるようになって欲しいです!

#### 応援メッセージ

2023年入社の方々、我が社に入って間もなく急な出張や遠方への通勤、被災地への応援など快く受けてくれてありがとうございます。これから覚えることが沢山ありますが、先輩たちから学ぶことだけでなく、自分なりのやり方を見つけてください!今年から、若手社員をどんどん増やすので良い先輩になってください!成長を期待しています!